



かごしまひがしこうこう こうとうとくべつしえんがっこうとしょかん  
鹿児島東高校・高等特別支援学校図書館だより

# とうてんびより 東天日和

れいわ ねん がつごう  
令和6年11月号  
はっこう かごしまひがしこうとうがっこう  
発行：鹿児島東高等学校  
こうとうとくべつしえんがっこうとうとしょかん  
高等特別支援学校合同図書館

どくしょ あき けいぞくちゅう  
読書の秋， 継続中。



げんざいどくしょ あき ま さいちゅう  
現在読書の秋の真っ最中。

みな ほん よ  
皆さん， 本は読んでいますか？

こうとくし かしだし じっしちゅう かごしまひがしこうこう せんじつ  
高特支では貸出スタンプラリー実施中， 鹿児島東高校では先日

『読書のススメ』があり， 本への関心も高まっているのではない  
でしょうか。

としょかん がつ ほん もう  
図書館では11月いっぱい， 3つのおすすめ本コーナーを設けて  
います。

かごしまひがしこうこうとしょいいん ほん  
●鹿児島東高校図書委員のおすすめ本

せんせい ほん  
●先生たちのおすすめ本

かごしまけん こうこうとしょかんししょ えら ほん  
●鹿児島県の高校図書館司書が選んだおすすめ本

すいせんぶん か つ てんじ  
それぞれどれも推薦文の書かれたPOP付きの展示です。

みちか だれ ところ さ ほん せ ひ よ  
身近な誰かの心に刺さった本を， 是非読んでみてください。



が つ きゅうかんび し  
●11月の休館日のお知らせ●

が つ にち すい ししょふざい ため  
11月13日(水)は司書不在のため

きゅうかん  
休館します。

が っ に ち え ほ ん ひ  
11月30日は絵本の日。

さ っ か ひ ょ う ろ ん か ほ ん や く か せ た て い じ し あ ら わ え ほ ん ろ ん し ゃ ほ ん ね ん  
作家・評論家・翻訳家の瀬田貞二氏が著した『絵本論』の初版が、1985年  
が っ に ち は つ ば い ゆ ら い  
11月30日に発売されたことに由来しています。

こ と し ふ た り ち ょ め い え ほ ん さ っ か な  
今年、二人の著名な絵本作家さんがお亡くなりになりました。

ひ と り ぶ ん し ゃ う か な が わ り え こ  
一人は『ぐりとぐら』の文章を書かれた、中川李枝子さん。

『ぐりとぐら』は、絵を描かれた山脇百合子さんも二年前の2022年に亡くな  
ら れて い ます。

ひ と り ゆ う め い  
もう一人は『いないこだれだ』で有名な、せなけいこさん。

な が ね ん あ い つ つ め い さ く み な こ こ ろ よ き お く  
どちらも長年愛され続けている名作で、皆さんも子どもの頃に読んだ記憶がある  
の で は な い で し ょ う か。

ふ た り え ほ ん と う と し ゃ か ん な ん さ つ し ゃ ぞ う  
お二人の絵本は、いずれも当図書館に何冊か所蔵しています。

え ほ ん な ん さい よ ど う し ん お も だ ど き こ こ ろ  
絵本は何歳になっても読めば童心を思い出させ、そして時に子どもだった頃には  
わ 分 け な か っ た こ と に き つ け せ て く れ ます。

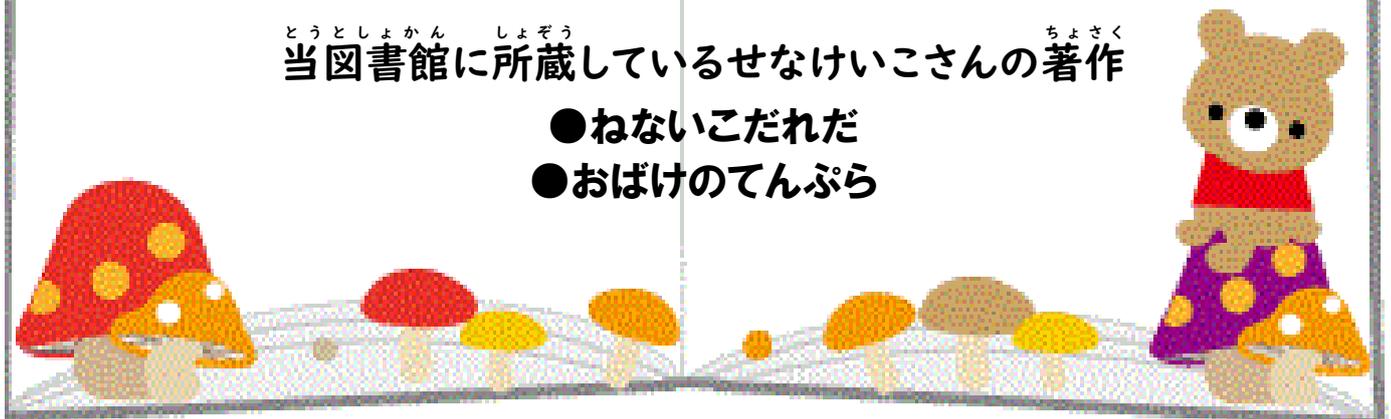
ひ さ え ほ ん せ かい た び だ  
ぜひ、久しぶりに絵本の世界へと旅立ってみてください。

と う と し ゃ か ん し ゃ ぞ う な が わ り え こ ち ょ さ く  
当図書館に所蔵している中川李枝子さんの著作

- ぐりとぐら
- ぐりとぐらのおきゃくさま
- そらいろのたね
- たんたのたんけん
- いやいやえん

と う と し ゃ か ん し ゃ ぞ う ち ょ さ く  
当図書館に所蔵しているせなけいこさんの著作

- ねないこだれだ
- おばけのてんぷら



こんねんどこうにゅう えほん  
**●今年度購入した絵本**

<p>こんとあき  <small>はやしあきこ さく ふくいんかんしよてん</small>          林明子／作 福音館書店</p>	<p>ぬいぐるみのこんと、女<small>おんな</small>の子あきが二人<small>ふたり</small>で電車<small>でんしゃ</small>          で旅<small>たび</small>に出る、はらはらどきどきな冒険<small>ぼうけん</small>の物語<small>ものがたり</small>。</p>
<p>でんしゃにのって  <small>とよたかずひこ ちよ</small>／著 アリス館<small>かん</small></p>	<p>うららちゃんがひとり<small>でんしゃ</small>で電車<small>の</small>に乗っていると、い          ろんな動物<small>どうぶつ</small>が乗<small>の</small>ってきて!?</p>
<p>おじさんのかさ  <small>さのようこ さく え こうだんしゃ</small>          佐野洋子／作・絵 講談社</p>	<p>立派<small>りっぱ</small>な傘<small>かさ</small>を大事<small>だいじ</small>にするあまり、雨<small>あめ</small>の日も傘<small>ひ</small>をさ          さないおじさん。でもある日<small>ひ</small>・・・</p>
<p>パンドロぼう  <small>しばた</small>／作 KADOKAWA</p>	<p>パンドロぼうは、今日<small>きょう</small>もおいしいパン<small>めす</small>を盗<small>ぬす</small>もうと          ねらっています。果た<small>は</small>してその正体<small>しょうたい</small>は!?</p>
<p>まほうのコップ  <small>ふじたち えいげん かわしまとしき しやしん はせがわせつこ ぶん ふくいんかんしよてん</small>          藤田千枝／原案 川島敏生／写真 長谷川摂子／文 福音館書店</p>	<p>ガラスのコップに水<small>みず</small>を入れれば、魔法<small>まほう</small>のコップ          のできあがり。何<small>なん</small>とも不思議<small>ふしぎ</small>な写真<small>しゃしん</small>絵本<small>えほん</small>。</p>
<p>よるよ  <small>こじやじこ さく なかやましんいち え かいせいしゃ</small>          コジヤジコ／作 中山信一／絵 偕成社</p>	<p>右<small>みぎ</small>から読<small>よ</small>んでも左<small>ひだり</small>から読<small>よ</small>んでも同じ、全文<small>おな</small>回文<small>ぜんぶん</small>          でできたことば遊<small>あそ</small>び絵本<small>えほん</small>。</p>
<p>なまえのないねこ  <small>たけしたふみこ ぶん まちだなおこ え こみねしよてん</small>          竹下文子／文 町田尚子／絵 小峰書店</p>	<p>なまえのないねこは、自分<small>じぶん</small>で名前<small>なまえ</small>をつけようと          探<small>さが</small>し始め<small>はじ</small>めます・・・ねこが本当<small>ほんとう</small>に欲<small>ほ</small>しかったのは?</p>
<p>ねこはるすばん  <small>まちだなおこ さく ほるぶ しゅっばん</small>          町田尚子／作 ほるぶ出版</p>	<p>ねこはるすばん、と思<small>おも</small>ったら・・・留守番<small>るすばん</small>の間<small>あいだ</small>にこ          っそりと、猫<small>ねこ</small>の街<small>まち</small>にでかけていた!</p>
<p>ねことねこ  <small>まちだなおこ さく こぐま社</small></p>	<p>かわいいねこたちの同<small>おな</small>じところ、違<small>ちが</small>うところを          繊細<small>せんさい</small>かつリアルな絵<small>え</small>でたっぷり堪能<small>たんう</small>!</p>
<p>おばけやしきにおひっこし  <small>かズノ・コハラ さく みつむらきよういくとしよ</small>          カズノ・コハラ／作 光村教育図書</p>	<p>女<small>おんな</small>の子のマージョリイが引<small>ひ</small>っ越<small>こ</small>したのは、何<small>なん</small>とお          ばけ屋敷<small>やしき</small>!でも大丈夫<small>だいじょうぶ</small>、だってマージョリイは・・・</p>
<p>でんしゃはうたう  <small>さんのみやまゆこ ぶん みねおみつ え ふくいんかんしよてん</small>          三宮麻由子／文 みねおみつ／絵 福音館書店</p>	<p>電車<small>でんしゃ</small>の出<small>だ</small>す音<small>おと</small>はまるで歌<small>うた</small>のよう。電車<small>でんしゃ</small>の動<small>うご</small>きを          緻密<small>ちみつ</small>な絵<small>え</small>と独特<small>どくとく</small>な擬音<small>ぎおん</small>でつむぐ絵本<small>えほん</small>。</p>
<p>ちよっぴりながもちするそうです  <small>よシタケシンスケ さく はくせんしゃ</small>          ヨシタケシンスケ／作 白泉社</p>	<p>多忙<small>たぼう</small>な大人<small>おとな</small>が気分<small>きぶん</small>を変<small>か</small>えたい時<small>とき</small>にもおすすめ          の、ヨシタケシンスケさんのおまじない絵本<small>えほん</small>。</p>
<p>ぼくを探しに  <small>シェル・シルヴァスタイン さく</small>          シェル・シルヴァスタイン／作  <small>くらはしゆみこ やく こうだんしゃ</small>          倉橋由美子／訳 講談社</p>	<p>何<small>なに</small>かが足<small>た</small>りない「ぼく」は、転<small>ころ</small>がり続<small>つづ</small>けてやっ          ぴったりのかけら<small>み</small>を見つけた。でも・・・</p>
<p>はぐれくん、おおきなマルにであう  <small>シェル・シルヴァスタイン さく</small>          シェル・シルヴァスタイン／作  <small>むらかみはるき やく こうだんしゃ</small>          村上春樹／訳 講談社</p>	<p>自分<small>じぶん</small>にぴったりの形<small>かたち</small>を探<small>さが</small>しているはぐれくん。          ある日<small>ひ</small>出会<small>であ</small>った大<small>おお</small>きなマルがくれたヒントとは?</p>



# ありがとうございました！『読書のススメ』

11月6日に鹿児島東高校で開催された『読書のススメ』。

参加者全員の協力で、無事終わることができました。

今回紹介された本は3冊とも図書館に所蔵しています。

入口の所に展示していますので、是非読んでみてくださいね。

## ●みんなの感想

知っていた本も含め、また読みたい、読んでみたい!となった発表ばかりでした。

どの発表も、抜き出す部分がおもしろくて話し方も上手だったので楽しく聞くことができました。

しっかりとその本の魅力を知ることができた。次に図書館に行く機会があったら探して読んでみたくなるような発表だったのでとても良かったと思いました。

ビブリオバトルは何のためにするかわからなかったが、ビブリオバトルで読みたいなど思える本があった。みんなの話し方が気になる終わり方なので続きが気になりました。

発表者全員が自分が読んで感じた魅力をうまく発表することができていたと思う。どの本も話の続きが気になるような本なので、実際に読んでみて発表者が感じた世界観を味わって結末を知りたいと思った。自分とは違う人間の本についての発表を聞くことで、本についての見聞が広がると思った。

来年は自分も参加したいと思いました。自分の紹介したい本は万人受けするものではないけれど、だからこそ、趣味の合う人を見つけてこの本について話したいと思ったからです。

ビブリオバトルはもっと小規模に、発表参加者が輪になってする方法もあります。みんなの前で発表するのはちょっと難しいけど、少人数でなら興味がある・・・という人がいたら、是非図書館の林まで声をかけてください。

